

いきいき男女共同参画

マンガで学ぼう男と女

あなたと私の共同参画講座第2回は漫画家の段丹映子さんに講演していただきました。要旨は次のとおりです。

きつかけ・・・
漫画、イラストを描くかわら、いくつかの職業を経てきた。子育て、介護とも向き合ってきた。その中で様々な立場の女の人たちが抱えている不満や悩み、苦しみなどから、問題の共通点があると感じ、4コマ漫画で問題提起を繰り返してきた。

暮らしやすい社会を・・・
女性をみる社会の目とか男性をみる社会の目は、私たちの意識していないところで日



△映像を見ながら講演を聞く

常生活、社会生活に大きく作用している。長引く不況、少子高齢社会、犯罪の増加、地球規模の異常気象など、どこをみても先の見えない不安な時代を私たちは生きていかなくてはいけない。こんな時代だからこそ、男性も女性もお互いに支えあって、手を携えて少しでも暮らしやすい社会を作っていくことが大切だと思ふ。

私たちができること・・・

国の制度や法律から変えなくてはならない問題、或いは企業とか地域の取り組みで改善される事柄などいろいろあるが、私たち一人ひとりができる取り組みとして、感謝やねぎらいの言葉をお互い伝え合う。或いは立場の異なる相手を持つことではないか。男性、女性が互いの立場、背負っているリスクも感じ取れる心

の柔らかさ、そしてゆとりを持つことが必要だと思ふ。

言わなくても分るでなく、きちんと言葉や態度で伝える努力が不可欠だと思ふ。小さな水の一滴がやがて大きな川、

グループワークより・・・

▼男性も「男は男らしく」とか言われ、正直そんなに強くなれないのが実情で、女性も家庭を持ったら責任の一旦があると表明することが必要だと思ふ。

▼自分自身に刷り込まれた性差は消すことはできないが、最終的には個々の人間として、相手を思いやりいたわることが大切だと思ふ。

▼無意識の言動、行動が差別につながるという気付きがあった。日常に溶け込んでいるから、気付きにくいという怖さがある。

そして海へとつながるように、一人ひとりの小さな努力が男女共同参画社会には絶対必要だと考えます。皆さんはどのようにお考えですか。

異文化を知り・・・

日本の文化と比較すると、アフリカの女性の生き方が、日本の女性とかなり似ている。しかし、アフリカの経済的困難さは日本の比でなく、途上国は全体に貧しく、女性ということで更にハンディキャップを持つ。女性たちが教育を受けられないことが、女性が立ち上がっていく上で一番の障害になっている。

人類学の研究から・・・

世界中で女性優位の社会はない。どこも男性が中心で、支配的立場にいる。しかし、公の場では確かに男性だが、家庭内での女性の男性に対する影響力は、日本だけでなく、多くの社会にある。女性の働きかけ次第で変わるのではな



△講演する小泉先生

いいやま女性センター未来 パワーアップ講座修了

「日商簿記検定3級」講座

6月から10月までの6ヶ月間、全24回コースで開催しました。講師に社会保険労務士の江村登三男氏をお迎えし、財務・会計の基礎知識と電卓記号の活用方法など簿記の知識やノウハウをわかりやすく教えていただきました。

また、11月に商工会議所で開催された第124回「日商簿記検定3級試験」にもチャレンジしました。



受講生の声・・・

- ◆回数を重ねるごとに難しくなりましたが、毎回の講座が楽しくわかりやすく、次の回が楽しみになりました。
- ◆難しく不安に思ったこともあったが、他の受講生の熱心さに刺激され、粘り強くがんばれました。
- ◆受講生同士で和気あいあいと楽しく受講できてよかったです。

「訪問介護員養成研修2級課程」講座

今年で5年目となる訪問介護員（ホームヘルパー）養成研修2級課程の修了式が10月28日に行われました。約4ヶ月間、130時間のカリキュラムを受講した19名には修了証明書が授与されました。今年度も、ハローワーク飯山の協力を得て、市内外の介護関係施設8社の合同面接会を修了式に合わせ開催しました。受講生の今後の活躍が期待されます。

受講生の声・・・

- ◆今までいろいろな人にお世話になってきたが、今度は自分がみなさんにその恩をお返ししていくための手段としてホームヘルパーの仕事につけば、この研修での成果をいかしていきたい。
- ◆今年の夏は例年になく猛暑で、実習でのおむつ交換や食事介助など肉体的には大変でしたが、受講生のみなさんと励ましあいながらできたことがよい思い出となりました。



くらしのセミナー参加者募集

「珈琲の美味しい入れ方」

毎日のくらしに役立つちょっとしたヒントを専門家から学びましょう。コーヒーをもっとおいしくいただくためにコーヒーの知識とおいしいコーヒーの入れ方の「コツ」を学んでみませんか？

日時：平成23年1月22日（土）午前10時～12時

会場：女性センター未来

講師：JCQA コーヒーインストラクター2級 中臣 一利さん

定員：30人

参加費：350円（コーヒー／ケーキ付き）

対象：飯山市内在住もしくは市内に勤務されている方および未来利用者

申込受付期間：平成22年12月24日（金）～平成23年1月17日（月）

（土曜日の午後、日曜日、年末年始12月29日～1月3日を除く）

お申し込み・お問い合わせ：女性センター未来 TEL 62-0543



人権政策課男女共同参画係
電話：0269-62-3111
FAX：0269-62-5990
(内線 371)

E-mail：
jinken@city.iijama.nagano.jp

いいやま女性センター未来
飯山市大字飯山 1431
電話・FAX：0269-62-0543

E-mail：
center-mirai@city.iijama.nagano.jp